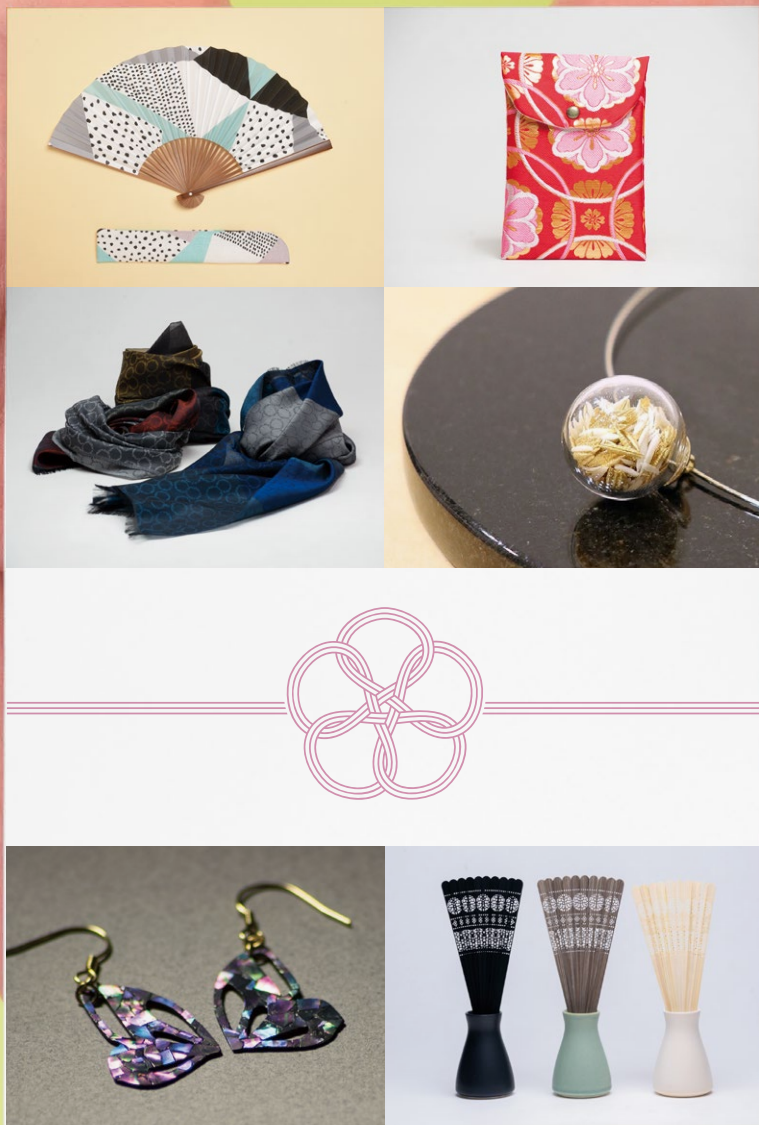


贈りものにぴったりの商品が揃う



京都の職人の手しごとで作られた、

京都職人工房 KYOTO CRAFTSMEN STUDIO

贈りもの

2019.
4.10 WED.
4.16 TUE.

ジェイアール京都伊勢丹 2階デイリー雑貨

金銀糸をふんだんに用いた きらびやかな西陣織金欄を日常に



京都西陣織元 もりさん

大正10年に創業のもりさんは、元々雛人形の着物に用いられる西陣織金欄の織元（メーカー）です。これまで織ってきた1,000種以上の金欄の古典柄を生かしつつ、現代の配色に色替えしたポリエステル100%金欄を製造。その生地で作られた御朱印張やカバンなどの商品は色落ちせず、耐久性にも優れています。

暮らしのうるおいをテーマに 鮮やかな色を湛える漆器



MUTSUMI oitate うるしのしごと

漆の昔ながらのイメージに引っ張られない商品は、伝統技法を用いながらも新しい漆の見せ方を提案。漆の伝統技術「螺鈿」を用いてつくられたアクセサリーは、多くの工程と高い技術が合わさってきた特別なものです。また香りがふわりと立ち上がるような漆のぼかし塗りを施した漆グラスなど新しい漆の世界を発見することができます。

京扇子の骨を利用した、 新しい扇ルームフレグランス「かざ」



色は匂へと

昭和初期から約90年続く、京扇子の製造、卸業・小売の「大西常商店」。
2018年に新ブランド「色は匂へと」より、ルームフレグランスを発表。
京扇子を扇ぐとふわりと漂う、ほのかな香り。扇子の薄い竹は「保香性」
に優れ、長く香りを保ち続けるという性質があります。この特性を活か
した、和の香りが広がるルームフレグランスです。

西陣織―帯―の妙技を 日々の暮らしに取り入れて



和工房名月

西陣織の技術をもちいて、様々な織り工夫を商品に落とし込んでいます。お絹をはじめ、漆・金・銀をほどこした箔や糸など、素材の魅力を生かすことを大切に。西陣織の技から生まれた絹100%のストールは、軽くてさらりとしているのに、保湿性が高い。絹の良さを感じていただける一品です。

器を作る蘇隆窯から生まれた 伝統を身にまとうceramic jewelry



蘇隆窯

蘇隆窯は、京都・清水焼と福岡・小石原焼に伝わる技術をそれぞれ受け継ぐ職人が夫婦で作陶している窯元。蘇隆窯の特徴である磁器に連続した細かい削り目をつける「飛鉋」(とびがんな)という技法があります。その時にこぼれ落ちる欠片をガラスのドームに閉じ込めたジュエリーです。

京扇子の老舗が培った技で届ける 大人可愛い扇子



/fan/fun

大人向けの可愛い扇子を提案する「/fan/fun」は、120年以上の歴史を持つ扇子製造・卸業の、みのや扇舗から2017年に新しく生まれたブランド。紙扇子の柄は同じく京都で活躍されるデザインユニットniwaのデザインです。可愛いながらも、品質はみのや扇舗が創業以来培った確かな技術でお届けします。